



# McLaren 620R

## オーナーズハンドブック



## 目次

- 1.01 運転の前に
- 2.01 メンテナンス
- 3.01 サーキットで
- 4.01 車両データおよび用語集



# はじめに

## はじめに

運転する前に本書を良く読み、McLaren 620R とこの車の機能に関してご理解ください。

この補足資料に記載されている情報は、特に McLaren 620R に関するものです。したがって、 McLaren 620R の操作、機能、および制御について完全に理解するには、 McLaren スポーツシリーズのオーナーズハンドブックとこの補足資料の両方を参照する必要があります。

この補足資料と McLaren スポーツシリーズのオーナーズハンドブックは、お客様の McLaren から最適なメリットと楽しさを得るために必要な情報を提供するものです。

McLaren Automotive Ltd. の書面による許可を得ずに本書の一部または全部を複製、翻訳もしくは再版することを禁じます。お客様の McLaren に搭載されている装備は、車両仕様により本書に掲載するものとは異なる場合があります。

McLaren は常時その車両を更新し、したがって、隨時設計、装備および技術的機能を変更する権利を留保します。

お客様のマクラーレンに付属されている書類は、車両の一部を構成するうえで不可欠なものです。車両を売却される場合には、必ず付属書類も同時に引き渡してください。

本車両は、特許により保護されています。 [cars.mclaren.com/patents](http://cars.mclaren.com/patents) を参照してください。

Printed in United Kingdom, 31QA150CP

## この補足資料の使用

McLaren 620R に関する情報を見つけるには、最初にこの補足資料に記載されている情報を参照してください。必要な情報が見つからない場合は、次の表を参照してください。この表には、 McLaren 620R に該当しないシステムと機能のリストが記載されています。

お探しの情報が補足資料に記載されておらず、次の表にも記載されていない場合は、 McLaren スポーツシリーズのオーナーズハンドブックを参照してください。詳細情報が必要な場合は、 McLaren 代理店にお問い合わせください。

McLaren 620R に該当しないシステムおよび機能:

- チャイルドパッセンジャー
- カップホルダー
- ナビゲーション（オプション）
- エアコン（オプション）

本書の内容は、必要な情報をすぐに見つけられるよう、章に分かれています。

## 運転の前に

運転席に着いた後に運転の準備を整え、すべての操作装置への安全かつ容易なアクセスを確保するために行う必要がある設定を詳しく説明します。

# はじめに

## メンテナンス

McLaren のメンテナンス手順を説明します。 McLaren 620R に搭載されている緊急システムに関するアドバイスと、 McLaren のお手入れ方法が記載されています。

## サーキットで

主にピットガレージで使用される、車両に付属するシステムおよびツールについて説明します。

## 車両データおよび技術用語集

お客様のマクラーレンの様々なシステムに必要なフルードの仕様やその分量については、この章を参照してください。また、お客様のマクラーレンや車両の性能に関する具体的なデータが必要な場合もこの章を参照してください。

## 索引

目次と索引は、必要な情報を素早く見つけるために役立ちます。

## 記号

本書では以下の記号を使用しています。これらの記号は、記載されている情報の種類が一目で分かる、視覚的なメッセージを提供します。

警告	
	怪我や死亡事故につながるおそれのある行為への注意事項を示します。
注意	
	車両を損傷する可能性のある行為への注意事項を示します。また、お客様にとつて役立つ情報や特定事項に関する追加情報を提供します。
環境保護上の注意	
	お客様およびお客様の車両が環境に及ぼす影響を最小限にするためのヒントを説明します。

## 車両の使用

 **警告:** お客様のマクラーレンに搭載されている電子システムは相互に作用しています。これらのシステムをみだりに改造すると、相互接続されている他のシステムの故障の原因となるおそれがあります。これらの不具合は、 McLaren の運転安全上およびお客様自身の安全に重大な危険を生じるおそれがあります。  
車両に間違った方法で装備を追加もしくは修正した場合も、運転安全に悪影響が生じる可能性があります。

車両を使用する際は以下の事項を遵守してください。

- この補足および McLaren スポーツシリーズのオーナーズハンドブック全体が安全性を重視しています。
- 道路交通法および規則

 **警告:** お客様のマクラーレンには、様々な警告ラベルが貼付されています。これらの警告ラベルは、お客様とその他の人々に様々な危険を知らせるためのものです。車両の警告ラベルは決して剥がさないでください。

警告ラベルを剥がすと、お客様や乗員が危険に気付くことができず、怪我などを負うおそれがあります。

# はじめに

## 最低地上高

 **警告: 急な上り坂または下り坂への進入の際、車両の下側を損傷する可能性があります。**

以下の場合には注意して運転してください。

- 縁石への進入
- 急な上り坂への進入
- 急な下り坂から平坦な道への進入
- 悪路での走行
- 交通静穏化策が実施されているエリアでの走行
- その他、駐車場など、路面の高さの急激な変化や上昇が起こる環境での走行

車体寸法、ページ 4.03 を参照してください。

## サーキット走行

車両の性能と信頼性を最大限に発揮するためには、サーキットでの走行の前に、以下の前提条件を満たしていることが重要です。

- エンジンオイルが標準動作温度である
- エンジンクーラントが標準動作温度である
- タイヤが安全な動作温度を超えていない

 **注意: サーキット走行を行う場合は、事前にマクラーレン代理店にご相談ください。**  
マクラーレンでは、サーキット走行の前後に車両を点検に出すよう推奨しています。

 **注意: ご自分で完全にコントロールできる範囲内で、また車両性能の限度を超えない範囲で走行してください。**

## クールダウン

サーキット走行時は、ブレーキやトランスマッシュョンが高温になりパフォーマンスに影響が出る可能性があるので、マクラーレンではクールダウンする時間を取りことを推奨します。急ブレーキや必要以上のギアチェンジをせずに比較的低速で走行すると、空気の流れで車両を冷却できます。

マクラーレンでは、サーキットを出る前に車両を標準動作温度に下げる時間を取りことを推奨します。

 **注意: パフォーマンス走行の直後に停車する場合、マクラーレンでは、すぐにはイグニッションスイッチをオフにせずにパーキングブレーキをかけることを推奨します。**  
マクラーレンでは、エンジンをアイドリングさせてからイグニッションスイッチをオフにすることを推奨します。

 **注意: サーキットおよび競技での使用上の注意については、サービスおよび保証ガイドを参照してください。**

## 運転の前に

開閉.....	1.02
ドアを開ける.....	1.02
ドアを閉じる.....	1.02
緊急ドアオーブン.....	1.03
ラゲッジルーム.....	1.03
シート.....	1.04
レーシングシート.....	1.04

# 運転の前に 開閉

## ドアを開ける

McLaren 620R は、標準の McLaren スポーツシリーズと同じインテリアおよびエクステリアドアハンドルを装備しており、これを通常の車両エントリに使用する必要があります。McLaren スポーツシリーズのオーナーズハンドブックを参照してください。

## ドアを閉じる

**⚠ 警告:** ドアを閉じる際は、手や他の物体がドアエッジにかられないようにしてください。特に、ソフトクローズラッチ装着車の場合は、1つ目のラッチがかかった時点でドアが自動的に全閉状態までロックされるため、注意が必要です。挟み込み防止機能は搭載されていないため、ドアとドア開口部の間に物体や身体の一部があってもドアの全閉動作は中止されません。重傷や車両の損傷が発生する可能性があります。

ドアを下方向に押し引きし、確実にラッチしたことを確認してください。

**i 注意:** ドアを無理に閉じないでください。ドア開口部またはドアシールが損傷するおそれがあります。

運転者がシートにストラップで固定されている場合、ブルーストラップを使用してドアを閉じることができます。



# 運転の前に 開閉

## 緊急ドアオープン

### 緊急ドアオープン - 車内から

McLaren 620R には、車内に緊急ドアリリースがあり、ドアを車内から開放するには、ドア手動リリースストラップを探して引っ張ります。 McLaren スポーツシリーズのオーナーズハンドブックを参照してください。

### 緊急ドアオープン - 車外から

車両のバッテリーが放電した場合、またはリモコンキーの電池の放電によって車両をロックまたはロック解除できなくなった場合は、機械式キーを使用してください。 McLaren スポーツシリーズのオーナーズハンドブックを参照してください。

## ラゲッジルーム

空力性能を最大限に高めるために、McLaren 620R にはラゲッジコンパートメントにダクトが開口しています。

 **注意:** 濡れた状態でリッドを開くと、開いているダクトから水滴がラゲージコンパートメントに入ることがあります。

# 運転の前に シート

## レーシングシート

### シートの前後位置調整



**i** 注意: フットウェルまたはシートのそばに物や荷物などがないことを確認してください。物が置かれているとシートが損傷したり、調整を完全に行えないことがあります。

### シートの高さ/傾き調整

シートの高さと傾きを調整するには、McLaren代理店でお客様固有の要件に合わせて車両を設定するように手配します。

**⚠ 警告: シートの高さの調整は、必ずマクラーレン代理店に依頼してください。**

**i** 注意: シート位置は前後調整のみが可能です。

シートを調整するにはレバーを上げ、シートを好みの位置にスライドさせて、すべてのペダルに楽に足が届き、いっぱいまで踏むことができるようにしてください。

**⚠ 警告: 運転する前に、必ずシートが確実にロックされていることを確認してください。**





## メンテナンス

車両のお手入れ.....	2.02
McLaren 車の洗車.....	2.02
McLaren アシスタンス.....	2.03
回収のためのけん引.....	2.03

# メンテナンス

## 車両のお手入れ

### McLaren 車の洗車

 環境: 一部の洗剤には環境に有害な化学物質が含まれています。フルードをこぼさないように常に注意し、必要以上には使用しないでください。

#### 手洗いによる洗車

McLaren 620R にはオプションでデカールが貼り付け可能ですが、これらは壊れやすく、破損するおそれがあります。定期的に手洗いのみで清掃してください。

 注意: ジェットウォッシュを使用する場合は、シールの端から離れた場所に使用し、必ず糸くずの出ない布を使用して乾燥させ、必ず布がデカールの端に引っかからないようにしてください。

 注意: McLaren 620R のクリーニングに関する推奨事項については、McLaren スポーツシリーズのオーナーズハンドブック車両のお手入れを参照してください。

# メンテナンス

## McLaren アシスタンス

### 回収のためのけん引



McLarenには、サーキットで使用するために、フロントけん引ストラップが装備されています。

**i** 注意: けん引ストラップはサーキット使用専用です。路上でけん引する場合は、標準のけん引フックを使用してください。

**i** 注意: けん引ストラップは、McLaren 代理店しか取り付けることができません。

**i** 注意: 車両をけん引しないでください。けん引した場合、ギアボックスを損傷するおそれがあります。けん引ストラップは回収の目的で車両をトレーラーまたは輸送車に積載する場合以外には使用してはなりません。







# サーキットで

<b>エアロダイナミクス.....</b>	<b>3.02</b>
概要.....	3.02
リアウイング.....	3.02
<b>ホイールナットの締め付け.....</b>	<b>3.03</b>
ホイールナットツール.....	3.03
ホイールナット方向.....	3.03
<b>タイヤ.....</b>	<b>3.04</b>
スリックタイヤ.....	3.04
<b>サスペンション.....</b>	<b>3.05</b>
概要.....	3.05
ダンパー.....	3.05

# サーキットで エアロダイナミクス

## 概要

McLaren 620R には調整可能なリアウイングとダイブプレーンが装備されており、ダウンフォースが向上します。

## リアウイング

**⚠️ 警告: リアウイングの調整は、McLaren代理店で行ってください。**

**⚠️ 警告: リアウイングに損傷の兆候がないか定期的に点検し、正しく装着されていることを確認する必要があります。**

**⚠️ 警告: リアウイングの角度を変更すると、車両の操縦性と安定性に影響します。変更を実施した後は、車両の挙動をよく理解してください。**

マクラーレン 620R の空力走行安定性は、高速走行時でのリアウイングに大きく影響されます。



リアウイング調整ボルトのトルク値	9 Nm (7 lb/ft)
------------------	----------------

リアウイングの角度は、レースサーキットでの走行に合わせて調整できます。車両の全体的な空力性能には、工場出荷時の設定（最低のアタック角度）が推奨され、両方のアクスルのダウンフォースと車両のドラッグのバランスのとれたパフォーマンスを実現します。

リアウイングは3つの異なる位置に調整できます。アタック角度を大きくすると、リアアクスルのダウンフォースが増し、車両のグリップと安定性が向上します。ただし、角度を大きくすると、車両の空気抵抗も増します。

# サーキットで ホイールナットの締め付け

## ホイールナットツール

ホイールの交換は、必ずマクラーレン代理店で行ってください。



ホイールナットセンターロッキングリングの取り外し (2) およびナットトルク (1) 工具は、フロントラゲッジコンパートメントにあります。

## ホイールナット方向

車両側	ハブとナットのネジ山
左側	左側ねじ
右側	右側ねじ

次の図に示す締め付け方向。



# サーキットで タイヤ

## スリックタイヤ

### タイヤ選択

車両にスリックタイヤを装着した場合は、インストルメントクラスタメニューでタイヤタイプを変更する必要があります。これにより、タイヤ空気圧モニタリングシステム (TPMS) の設定が変更されます。この設定では、スリックタイヤは公道仕様に適合していないため、TPMS 警告灯が常時点灯します。タイヤ空気圧の制限はパンクを検出するように設定されています。そのため、サーキット走行中にはタイヤ空気圧を監視して管理してください。公道走行に適したタイヤを装着する際には、インストルメントクラスタメニューの設定を元に戻してください。

**i 注意:** McLaren では、TPMS 警告の発生を減らすために、この設定をサーキットで使用することを推奨しています。高温のタイヤでブリーディングが起こった場合でも、TPMS 警告の一部は依然として使用可能です。

### ホイールサイズ

フロントホイール	8J x 19
リアホイール	11J x 20

### タイヤサイズ

フロントタイヤ	225/35-R19
リアタイヤ	285/35-R20

### タイヤ空気圧



**警告:** スリックタイヤは 1.7 bar 未満では使用しないでください。タイヤ空気圧がこの値を下回っている場合は、絶対に車両を走行させないでください。この圧力を維持することで、タイヤの完全性が保証されます。

McLaren 620R の最適なタイヤ空気圧は、環境条件と路面温度によって異なります。外部からの影響にかかわらず、最低タイヤ空気圧は、タイヤが最適な作動温度にあるときに、目標値 2.1 bar で冷間時に 1.7 bar を下回ってはいけません。

# サーキットで サスペンション

## 概要

McLaren 620R には 2 方向調整式ダンパーがあり、ダンパーは圧縮とリバウンドの両方で調整可能です。

**i** 注意: McLaren 620R にはモータースポーツ用サスペンションが搭載されているため、車内でノックイング音と油圧バルブのノイズが聞こえることがあります。これは車両の予期される動作であり、お客様が苦情を申し立てる理由にはなりません。

## ダンパー

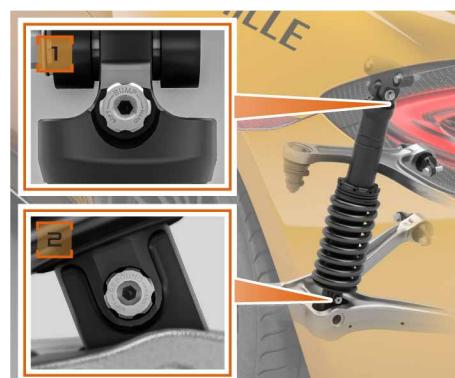
**⚠ 警告:** ダンパーは対称的に調整する必要がありますが、こうすることで、車両のハンドリングとスタビリティにおける一貫した挙動が確保されます。

**⚠ 警告:** ダンパー設定を調整すると、車両のハンドリングとスタビリティが影響を受けています。変更を実施した後、車両の挙動をよく理解してください。

コンプレッションアジャスターはダンパーボディの上部にあり、コンプレッションは 32 の多様なポジションに調整できます。調整には 4 mm 六角レンチが必要で、時計回りに回すと固くなり、反時計回りに柔らかくなります。

リバウンドアジャスターはダンパーボディのベースにあり、リバウンドは 35 の多様なポジションに調整できます。調整ホイールは時計回りに回すと固くなり、反時計回りに回すと柔らかくなります。

項目	説明
1	フロントダンパー・コンプレッションアジャスター
2	フロントダンパー・リバウンドアジャスター



# サーキットで サスペンション

項目	説明
1	リアダンパー・コンプレッションアジャスター
2	リアダンパー・リバウンドアジャスター

不正路面	完全に閉じた状態からのコンプレッションクリック	完全に閉じた状態からのリバウンドクリック
フロント	23	16
リア	22	28

## ダンパー設定

車両が McLaren 代理店に納入されたときには、ダンパーはあらかじめミッドレンジに設定されており、公道とサーキットでバランスの取れた性能を発揮します。車両の開発を通じて、McLarenは多様な用途に適合するように、次の推奨設定を定義しました:

公道および サーキット	完全に閉じた 状態からのコン プレッションクリック	完全に閉じた 状態からのリ バウンドクリック
フロント	20	13
リア	20	24

滑らかなサー キット路面	完全に閉じた 状態からのコン プレッションクリック	完全に閉じた 状態からのリ バウンドクリック
フロント	18	9
リア	10	17





# 車両データおよび用語集

データ .....	4.02
概要 .....	4.02
車両動作温度 .....	4.02
エンジン .....	4.02
推進燃料 .....	4.03
車体寸法 .....	4.03
車両重量 .....	4.04
ホイールとタイヤ .....	4.04

# 車両データおよび用語集 データ

## 概要

本節にはお客様の車両に関して必要な技術データをすべて記載します。このデータは車両の標準装備に適用されます。したがって、オプション装備を装着した車両ではデータが異なる場合があります。マクラーレン代理店から詳細な情報を入手できます。

## 車両動作温度

最低動作気温	-20 °C (-4 °F)
最高動作気温	+50°C (+122°F)



注意: 最低気温から最高気温までの範囲外で車両を使用した場合、性能が低下することがあります。McLaren は車両を標準温度範囲外で使用した場合、もしくは高地において使用した場合、表示エンジン出力を達成できなかったとしても責任を負いません。

## エンジン

定格出力 (kW) @rpm	456 @ 7,000
定格出力 (PS) @rpm	620 @ 7,000
定格トルク (Nm) @rpm	620 @ 3,500
定格トルク (lb-ft) @rpm	457 @ 3,500
気筒数	8
排気量 (cm <sup>3</sup> )	3,779
最大回転数 (rpm)	8,500

# 車両データおよび用語集 データ

## 推奨燃料

**⚠ 警告: 異なるグレードの燃料を使用すると、エンジン性能が著しく低下します。**

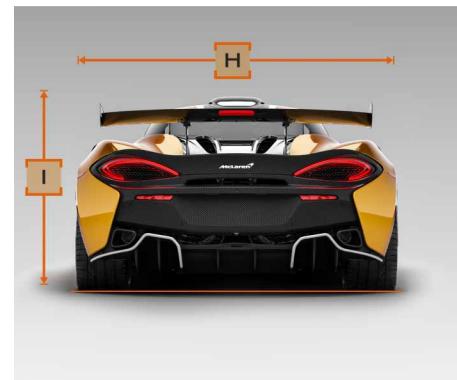
エンジンの性能を最大に引き出すために、99 RON の使用を推奨します。

## 車体寸法



A	全長	4,557 mm (14 フィート 11 インチ)
B	ホイールベース	2,670 mm (8 フィート 9 インチ)
C	リアオーバーハング	785 mm (2 フィート 7 インチ)
D	フロントオーバーハング	1102 mm (3 フィート 7 インチ)
E	最低地上高	92 mm (4 インチ)

F	アプローチアン グル	6.1
G	デパーチャーア ングル	6.1



H	全幅 (ドア閉、ミラーを含む)	2,095 mm (6 フィート 10 インチ)
I	全高 (ドア閉)	1,193 mm (3 フィート 11 インチ)

# 車両データおよび用語集

## データ



### 車両重量

重量	Kg (lb)
乾燥重量	1,282 (2,826)

### ホイールとタイヤ

 警告: 濡れた路面や凍結路では、特にトレッドの深さが最低限に近いときはタイヤのグリップが急激に低下します。タイヤグリップの低下のため車両のコントロールを失い、事故に至るおそれがあります。速度を落とし、いつも以上に注意深く運転してください。

J	全幅 (ドア開、最大幅)	3,225 mm (10 フィート 7 インチ)
K	全高 (ドア開)	1,973 mm (6 フィート 6 インチ)

 注意: 尺寸はすべて近似値です。

# 車両データおよび用語集

## データ

### ホイールサイズ

フロントホイール	8J x 19
リアホイール	11J x 20

### タイヤサイズ

フロントタイヤ	225/35-R19
リアタイヤ	285/35-R20

### タイヤ空気圧

荷重条件	フロントホイール		リアホイール	
通常使用時	Bar	Psi	Bar	Psi
Pirelli P Zero™ Trofeo R	2.0	29	2.0	29

荷重条件	フロントホイール		リアホイール	
	Bar	Psi	Bar	Psi
270 km/h (165 mph) を超える速度				
Pirelli P Zero™ Trofeo R	2.5	36	2.5	36

### スリックタイヤ

 **警告: スリックタイヤは 1.7 bar 未満では使用しないでください。タイヤ空気圧がこの値を下回っている場合は、絶対に車両を走行させないでください。この圧力を維持することで、タイヤの完全性が保証されます。**

McLaren 620R の最適なタイヤ空気圧は、環境条件と路面温度によって異なります。外部からの影響にかかわらず、最低タイヤ空気圧は、タイヤが最適な作動温度にあるときに、目標値 2.1 bar で冷間時に 1.7 bar を下回ってはいけません。







# 索引

## エ

エアロダイナミクス	3.02
ダイブプレーン	3.02
リアウイング	3.02, 3.02
エンジン	
パワー出力	4.02
技術データ	4.02

## ク

クリーニング	2.02
エクステリア	2.02

## け

けん引	2.03
-----	------

## こ

この補足資料の使用	2
-----------	---

## サ

サーキット走行	4
サスペンション	
ダンパー	3.05
調整	3.05

## シ

シート	1.04
-----	------

## ダ

ダイブプレーン	3.02
---------	------

## タ

タイヤサイズ	3.04
タイヤ空気圧	3.04
タイヤ選択	3.04

## ダ

ダンパー	
ダンパー調整	3.05
調整	3.05

## テ

データ	
概要	4.02

## ド

ドア	
開ける	1.02

緊急解除	1.03
閉じる	1.02
ドアを開ける	1.02
緊急	1.03

## は

はじめに	2
------	---

## パ

パワー出力	4.02
エンジン	4.02

## ホ

ホイールサイズ	3.04, 4.05
ホイールとタイヤ	3.04, 4.04
ホイールナット	
お手入れ	3.03
メンテナンス	3.03
締め付け方向	3.03

## ラ

ラゲッジルーム	1.03
---------	------

# 索引

## リ

リアウイング ..... 3.02

## レ

レーシングシート ..... 1.04  
調整 ..... 1.04

## 記

記号 ..... 3

## 技

技術データ ..... 4.02  
エンジン ..... 4.02  
ホイールとタイヤ ..... 3.04, 4.04  
車体寸法 ..... 4.03  
車両重量 ..... 4.04  
車両動作温度 ..... 4.02

## 最

最低地上高 ..... 4

## 仕

仕様 ..... 4.02

5.02

## 車

車体寸法 ..... 4.03  
車両の移送 ..... 2.03  
車両重量 ..... 4.04

## 重

重量 ..... 4.04

## 推

推進燃料品質 ..... 4.03

## 寸

寸法 ..... 4.03

## 洗

洗車 ..... 2.02, 2.02  
エクステリア ..... 2.02

## 動

動作温度  
車両 ..... 4.02

## 燃

燃料  
品質 ..... 4.03



